

市政報告会

～もっと身近な、もっと熱い、
もっと分かり易い 市政運営～



鹿屋市の 住みやすさ



	R 1 (2019)	R 5 (2023)	増減
住みやすい	30.1%	28.7%	▲1.4
どちらかという住みやすい	41.0%	41.4%	0.4
どちらでもない	4.4%	13.3%	8.9
どちらかという住みにくい	12.6%	9.5%	▲3.1
住みにくい	11.7%	6.9%	▲4.8

住みやすい理由 (R5)

- 1 まちが安全で安心して暮らせる
- 2 買い物などの日常生活が便利
- 3 病院などの保健医療が充実している
- 4 通勤・通学がしやすい
- 5 水道や道路などの都市基盤が整備されている

安心度
全国**46位**
(東洋経済新聞社)

- 3世代が近くに暮らせる環境 (50代女性)
- 買い物や公共機関等、利便性が良い (60代男性)
- 病院が揃っていて助かる。 (40代女性)

より「住みやすいまち」になるために必要なもの

R 1 (2019)		R 5 (2023)	
1 余暇を楽しむ場所	35%	1 余暇を楽しむ場所	35%
2 雇用の場	28%	2 買い物など日常生活の利便性	33%
3 公共交通機関	26%	3 雇用の場	27%
4 買い物など日常生活の利便性	20%	4 公共交通機関	26%

- 休日の娯楽が少ない。学生が楽しめる場所がほしい (10代男性)
- 魅力的な職場が少ない。大型ショッピングモールや大きな工場等の誘致 (30代男性)
- 公共交通機関が少ない。車がないとどこも行けない (20代女性)



農業産出額

9位

(2022年)



出生率

65位

(2023年)



15歳未満
人口割合

31位

(2023年)



1万人あたり
病床数

61位

(2022年)



千人当たり
刑法犯認知件数

284位

(2022年)



千人当たり
交通事故件数

526位

(2022年)



10万人あたり百貨店
総合スーパー数

95位

(2021年)



ごみの
リサイクル率

1,265位

(2021年)



耕地面積

1位

(2022年)



第1次産業
就業者数

1位

(2020年)



出生率

(人口千対)

4位

1位/19市
(2022年)



高等学校
生徒数

2位

(2022年)



10万人あたり百貨店
総合スーパー数

4位

2位/19市
(2021年)



飲食店数

2位

(2021年)



医師の数

2位

(2020年)



高齢者保健福祉
施設の数

(特別養護老人ホーム、デイサービスセン
ター、グループホーム等)

2位

財政

大型事業の実施や市独自の子育て支援策を
拡充してきた中であっても

- 将来にわたって持続可能で
健全な財政運営の確立



（令和5年度）予算規模は10年前から 約40%増加

福祉・子育て制度の充実や国・県の補助事業等を積極的に活用



歳入に占める 償却資産の割合が低い

市税 (R5)

区分 (人口)	鹿屋市 (98,594)	霧島市 (122,442)	薩摩 川内市 (90,380)
個人市民税	41億	55億	39億
法人市民税	6億	11億	8億
固定資産税	54億	88億	99億
償却資産	15億	31億	56億
その他 軽自動車税、たばこ税、 入湯税、都市計画税	17億	22億	16億
市税合計	118億	176億	162億

償却資産税とは、企業が保持する土地・家屋以外の機材や設備にかかる税金のことで、固定資産税の一種（課税標準額が150万円以上の場合に課税）

歳出に占める 扶助費の割合が高い

扶助費 (R5)

鹿屋市	霧島市	薩摩 川内市
186億	211億	150億
歳出の 30.1%	歳出の 28.8%	歳出の 25.3%

扶助費とは生活に困っている人や子育てをしている世帯、高齢者や障がい者などの生活を社会全体で支えるための経費

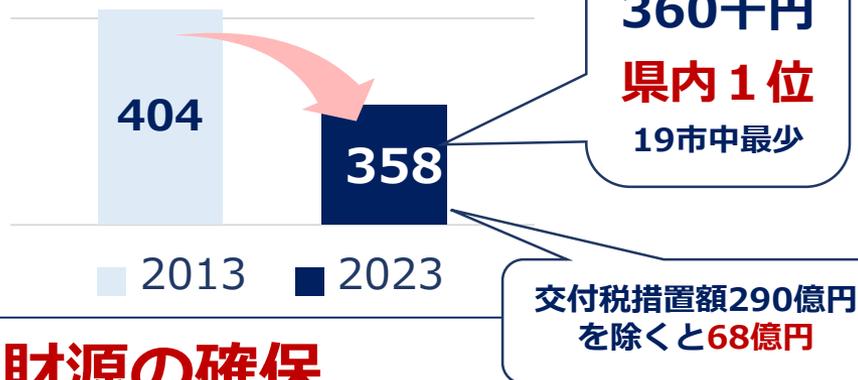
薩摩川内市と比較すると

- ・ 保育所運営費 (+11億円)
- ・ 障がい者(児)自立支援事業費 (+11億円)
- ・ 生活保護費 (+8億円)



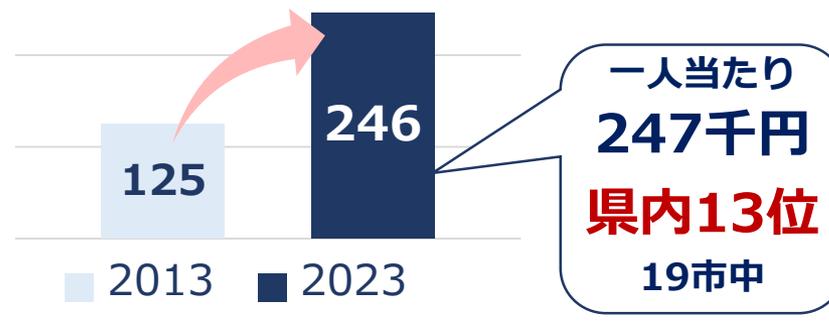
市債残高（借金）

46億円の減



基金残高（貯金）

121億円の増



財源の確保

- ➡ ふるさと納税の推進
2千万円 (2013) ▶ 35億円 (2023) 全国 52位
- ➡ 市税の収納率向上
- ➡ 新たな資金調達を活用
企業版／クラウドファンディング型ふるさと納税、ネーミングライツの導入
- ➡ 未利用財産の売却・活用
- ➡ 基金の債券運用 など

歳出の抑制

- ➡ 事業成果や費用対効果等に基づく予算配分
- ➡ DXの推進
会議・出張等のリモート化、ペーパーレス化、定型業務への RPA の導入など
- ➡ 立地適正化計画の推進
人口減少を見据えた集約化
- ➡ 公共施設等
総合管理計画等の推進



人口減少と 少子高齢化の進行

- ☞ 税金など歳入の減少
- ☞ 扶助費など社会保障関係費の増加

公共施設、インフラの老朽化

- ☞ 今後、改修や更新を要する市有施設の増加
(小中学校施設・市営住宅)
- ☞ 資材価格、人件費の高騰にともなう長寿命化対策経費の増加

子育て支援の拡充に伴う対応

- ☞ 子育てに関するニーズの多様化・複雑化
- ☞ 結婚、妊娠・出産、子育ての希望を叶え、安心して産み育てられる環境づくり

頻発化・激甚化する自然災害

- ☞ 災害の未然防止と市民の安全安心な生活基盤の構築 (防災・減災対策)
- ☞ 不測の事態への即時・的確な対応

物価高騰への対応

- ☞ 金利上昇に伴う利払費への対応
- ☞ 人事院勧告による職員人件費 (会計年度任用職員含む) の増加

歳入の見通し

- ☞ 一般財源である市税の大幅な増収は見込めない
- ☞ 国からの地方交付税等は、景気動向や税金などと連動することから、全体として大幅な増加は見込めないこと
- ☞ 有利な地方債である合併特例債の発行期間が、令和7年度で終了を迎える

鹿屋市行財政将来ビジョン (令和5年度～14年度)

将来にわたって持続可能で健全な財政運営の確立

産業構造

10年前の鹿屋市の経済活動との比較

鹿屋市の中心産業は第3次産業

大隅地域の中心都市として

➤ 一定の人口規模、関係人口の創出が重要



市内総生産

経済活動によって生み出された付加価値の総額

2,887億 (2011) **→** **3,663億円** (2021)
 +776億

- ✓ 第一次産業 +136億 (農業+132億)
- ✓ 第二次産業 +408億 (製造業+242億、建設業+165億)
- ✓ 第三次産業 +216億 (保健衛生・社会事業+126億、卸売・小売業+121億)

市民所得

居住者の生産活動により生産された付加価値の合計

2,302億 (2011) **→** **2,575億円** (2021)
 +273億

- ✓ 雇用者俸給 (労働を提供した雇用者への分配額) +138億
- ✓ 財産所得 (資産の所有・運用により生じる所得) +14億
- ✓ 企業所得 (企業者が経営活動によって得る利益) +67億

“まち並み” “市街地の賑わい”の変化

10年前と比べて

- ☞ ホテル・旅館 (収容人数) が増加
 (1,205人 ▶ 1,860人)
- ☞ コンビニ、スポーツジムが増加
 (46 ▶ 52店) (2 ▶ 14店)
- ☞ 大規模小売店舗が増加
 ホームセンター、農産物直売所 等
- ☞ ロードサイド等の飲食店が増加
 ファミレス、カフェ、ラーメン店、焼肉店等

商店街や若手経営者等と連携したイベント等

- ・りなかる りなぱ! ハロウィンパーティー
- ・冬華火 with 冬祭り
- ・KITADA SARUGGA
- ・リナシティまるごと食フェス
- ・かのやMeets2024 ・鹿屋台 Summer festival



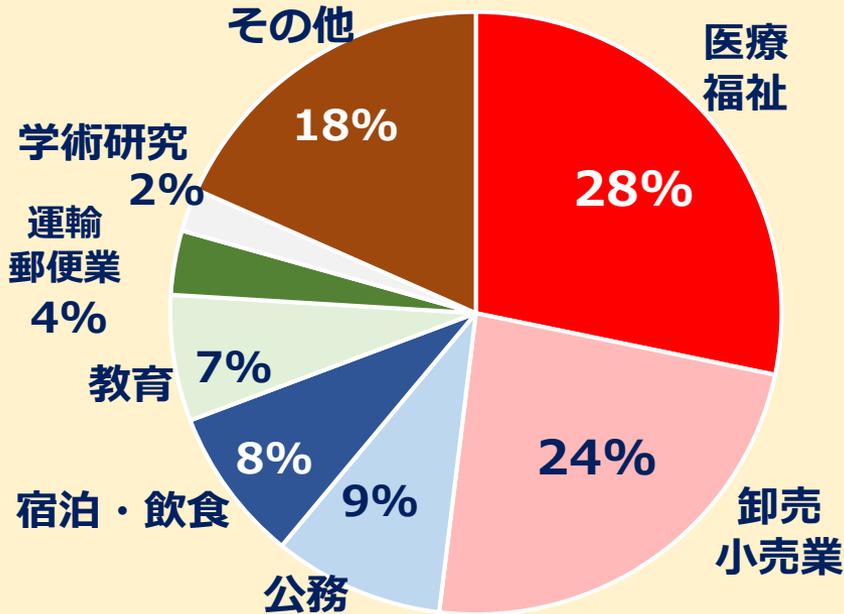
鹿屋市は第3次産業のまち

第1次産業：9%
第2次産業：19%
第3次産業：72%

拠点性・人口規模に基づいた
サービス産業が主体

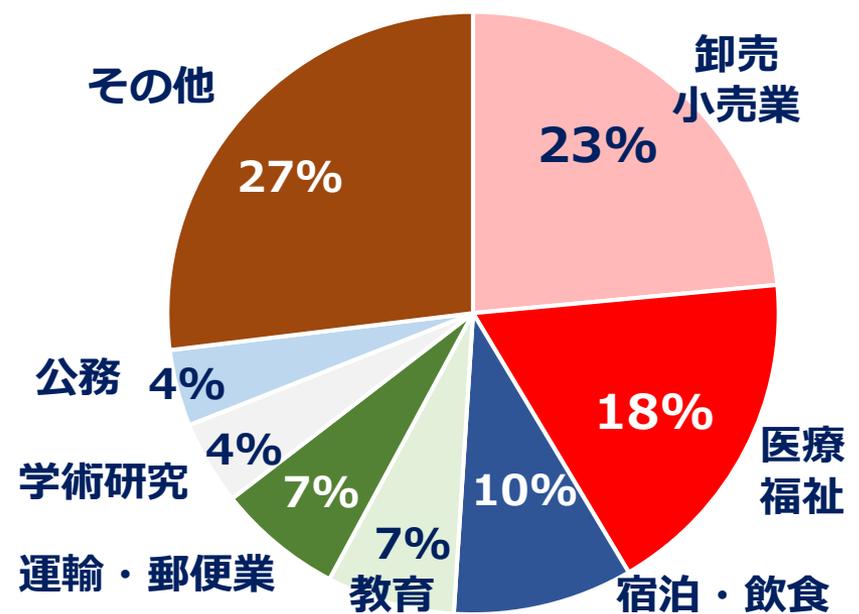
2021年 第3次産業就業者の割合

【鹿屋市】



2021年 第3次産業就業者の割合

【全国】

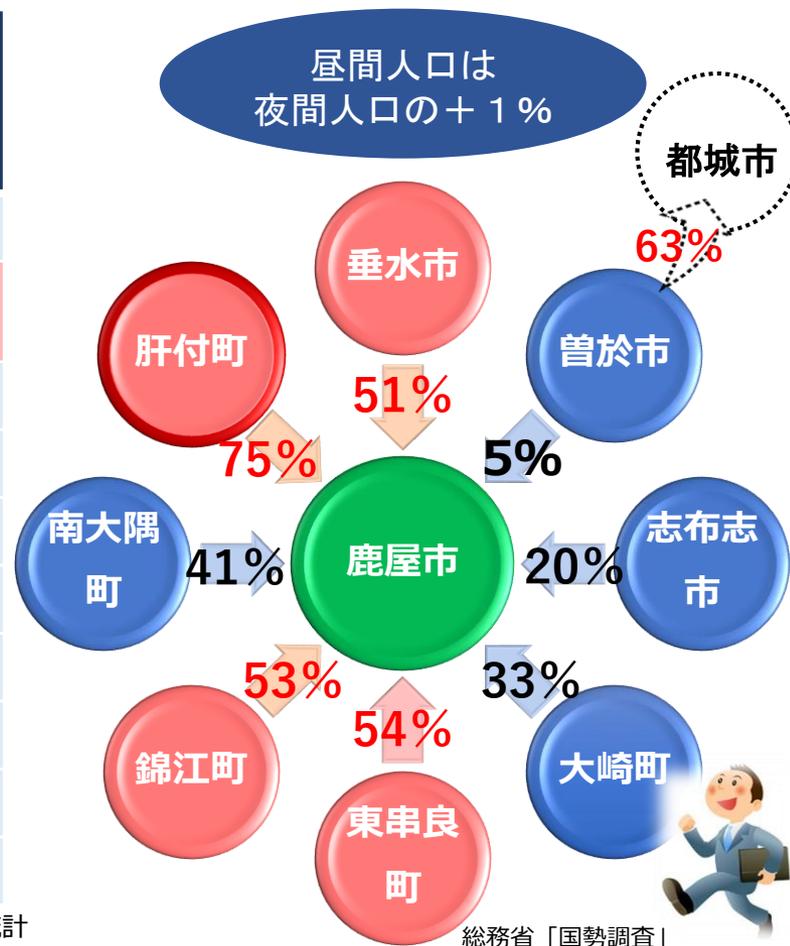


「医療・福祉」「卸売・小売業」が半分を占める

大隅地域の中心都市として、「人」・「モノ」が集積

肝付町、垂水市、東串良町、錦江町では、住所地外通勤者の過半数が鹿屋市に通勤

区分	官公庁 従業者	病床数	宿泊 収容 人数	高校	高校生 数
総数	11,261	3,649	4,046	13	4,866
鹿屋市	5,894 (52%)	2,356 (65%)	1,960 (49%)	7 (54%)	3,164 (65%)
垂水市	581	667	667	1	74
曾於市	1,312	607	74	1	413
志布志市	1,545	224	685	2	979
大崎町	365	-	541	-	-
東串良町	221	-	-	-	-
錦江町	328	196	29	-	-
南大隅町	290	-	82	1	84
肝付町	725	140	8	1	152



R3経済センサス-活動調査、R4医療施設動態調査、鹿屋市調べ、R5鹿児島県学校基本統計

総務省「国勢調査」

➤ 大隅地域の中心都市として拠点性・中心性の向上が重要

人口動態

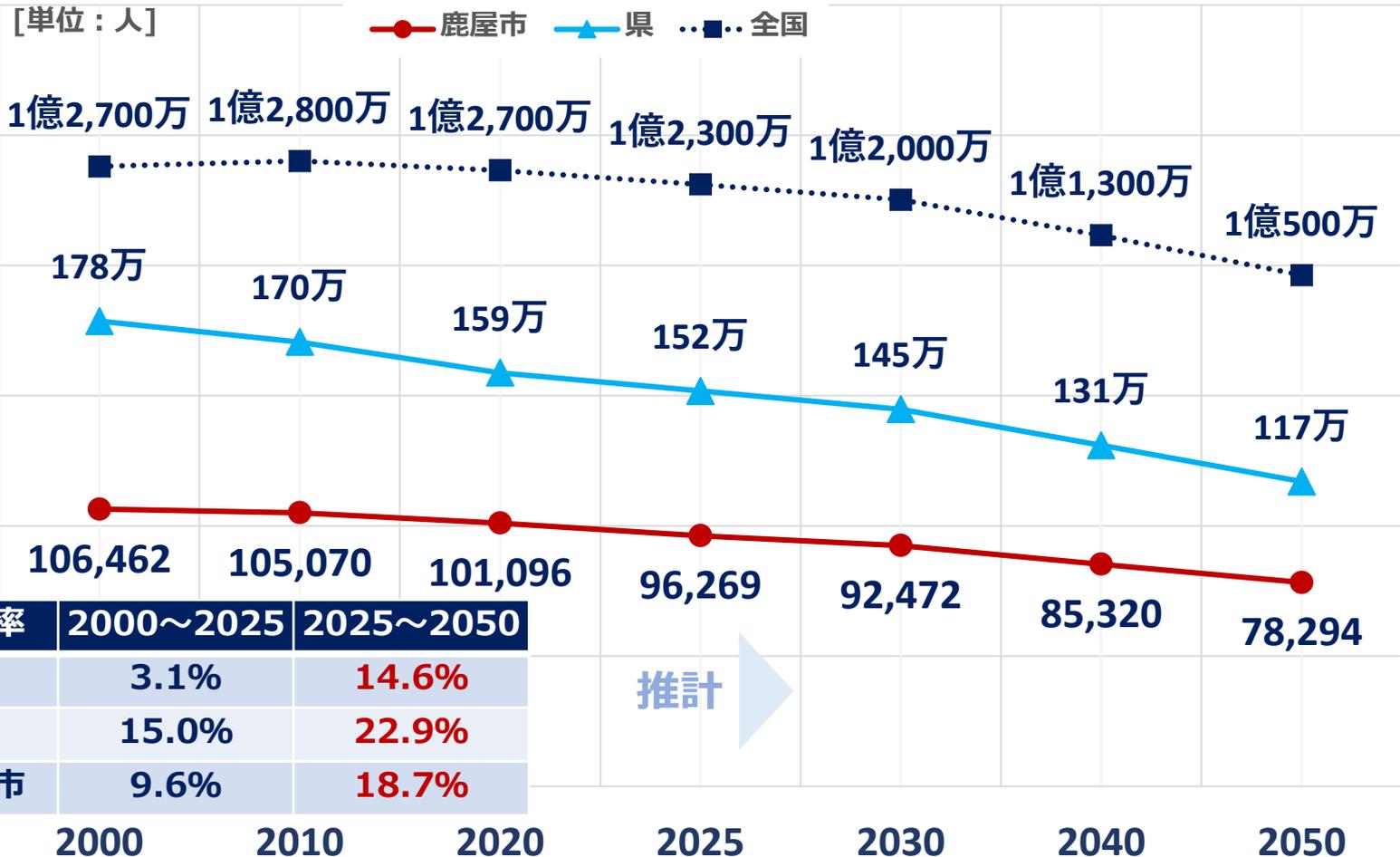
鹿屋市の人口減少・高齢化
大隅地域の人口急減

➤ 人口減少対策・大隅地域の防波堤



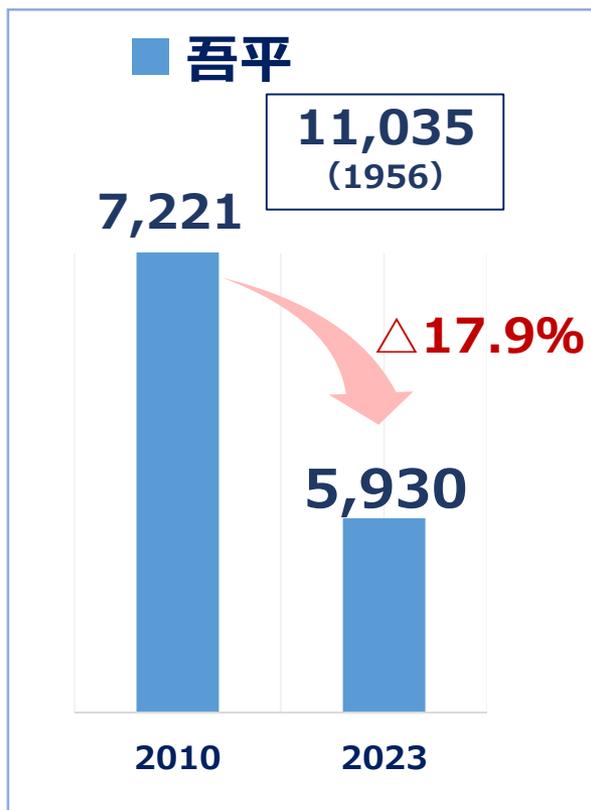
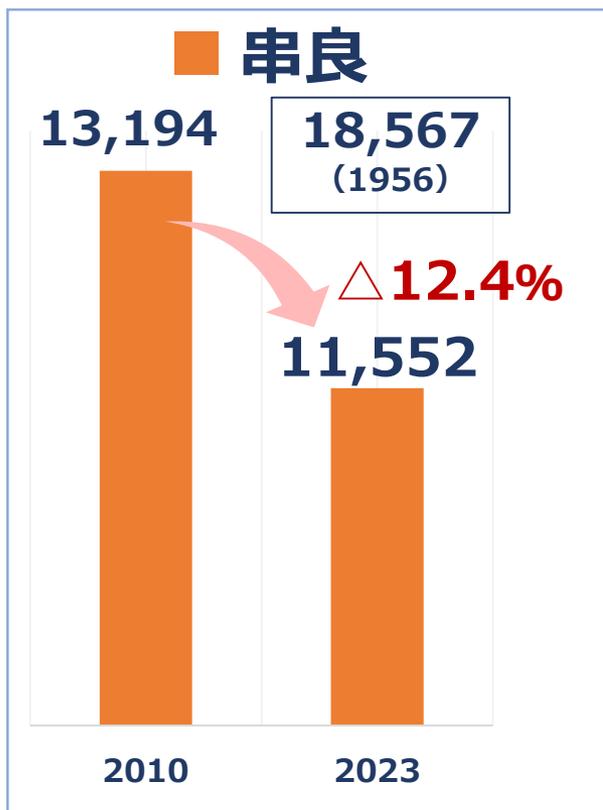
鹿屋市は2000年以降、人口は減少し続けている

※2025年から2050年の減少率は、2000年から2025年と比較して急増



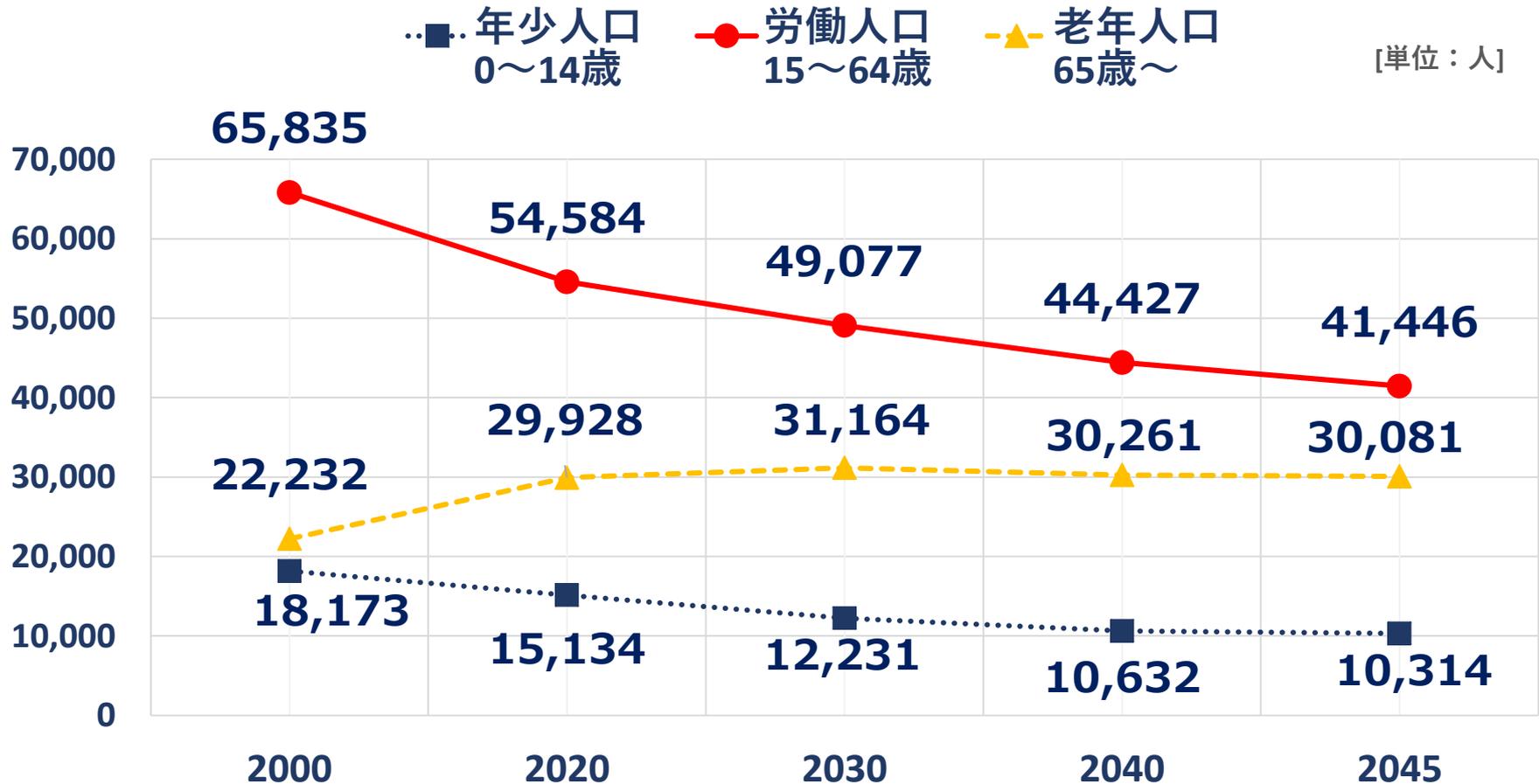
輝北・串良・吾平の3地域は、 1956年（昭和31年）をピークに人口が大きく減少

※ 3地域とも、2010年から2023年にかけて1,000人以上減少



労働人口及び年少人口は2000年以降継続的に減少傾向

※若者（支える人）は減っていき、老年人口（支えられる人）の割合が高まる



社会減（転出超過）が続いている

若者（10歳代、20歳代前半）の人口が大きく流出



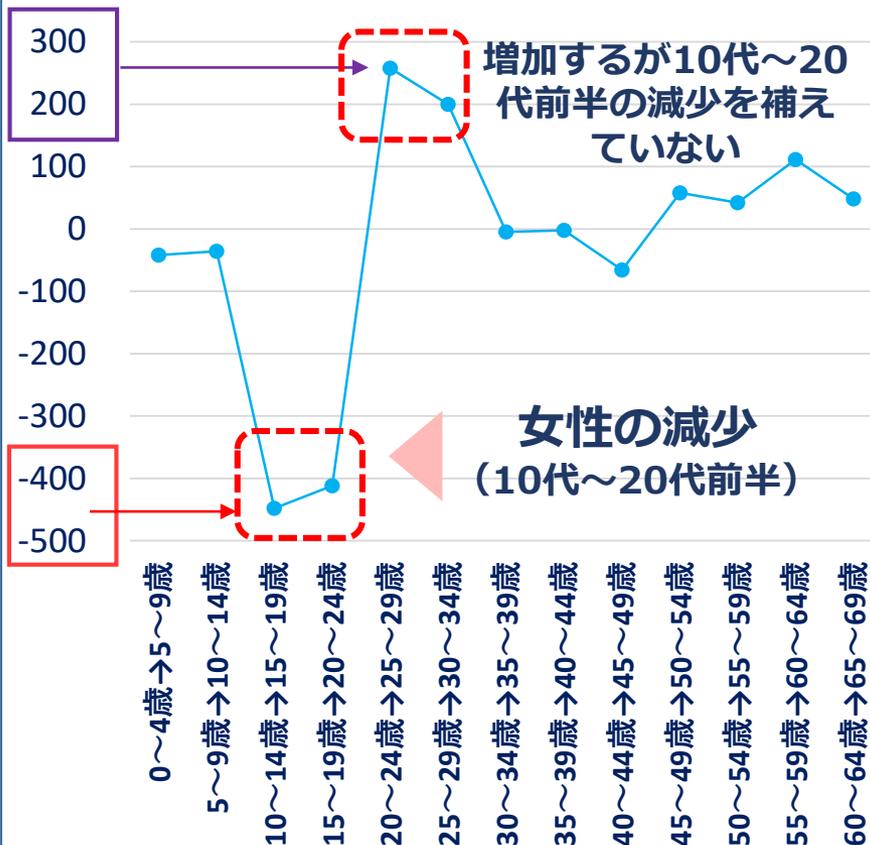
転入出の主な理由 (R5アンケート結果)

【転入】

【転出】

1	転勤	42%	転勤	40%
2	Uターン	18%	市外で就職	31%
3	転居 (転勤以外)	14%	進学	6%
			結婚	6%

【人】 ● 女性の年齢別人口推移(2015-2020年)

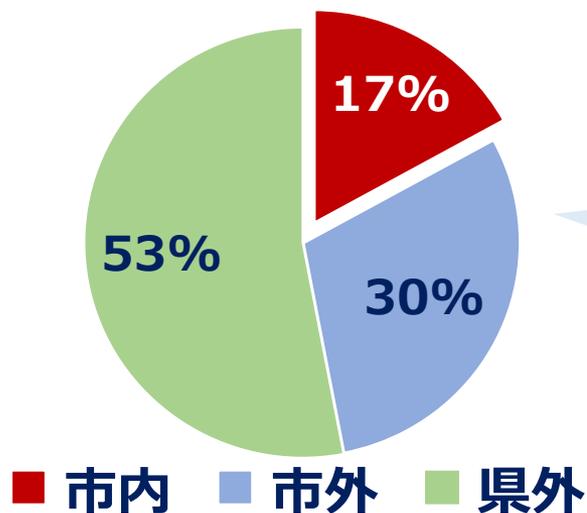


5歳階級ごとに、その階級の人口を5年後の人口から差し引いて得られる純移動数（年齢階級別純移動数）

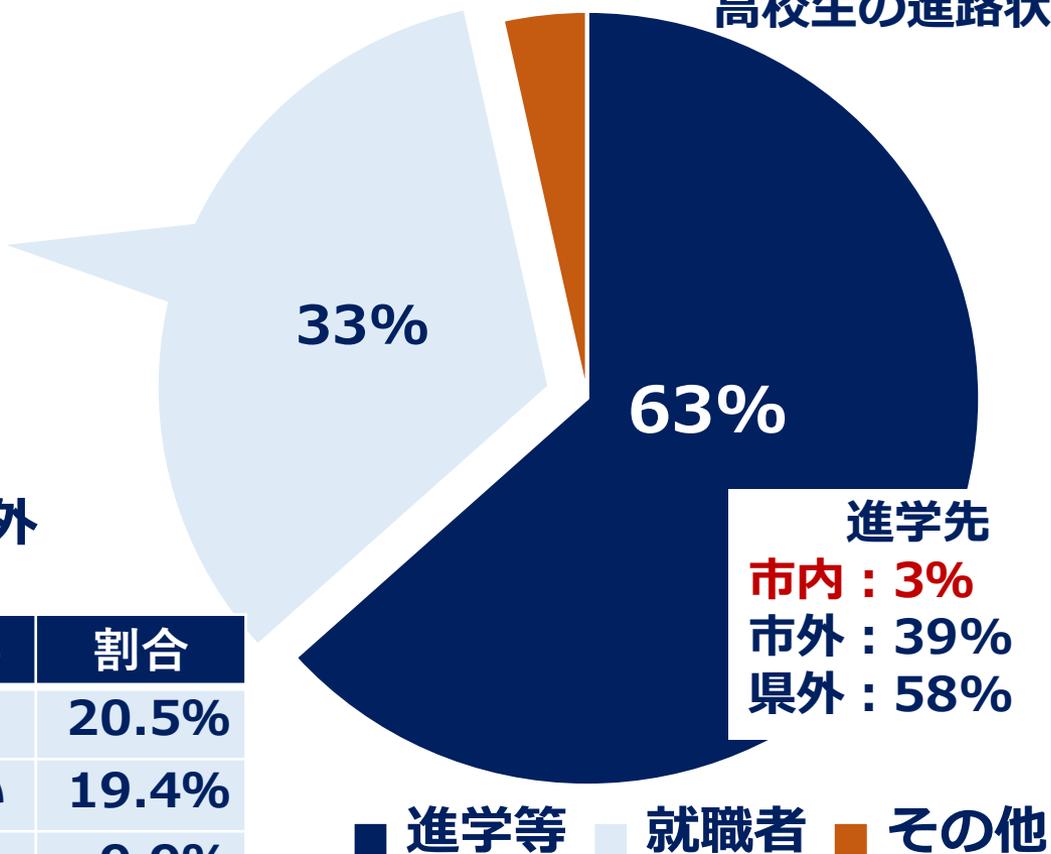
2023年卒業の高校生

63%が進学し、うち市内での進学は3%
33%が就職し、うち市内での就職は17%

高校生の就職状況

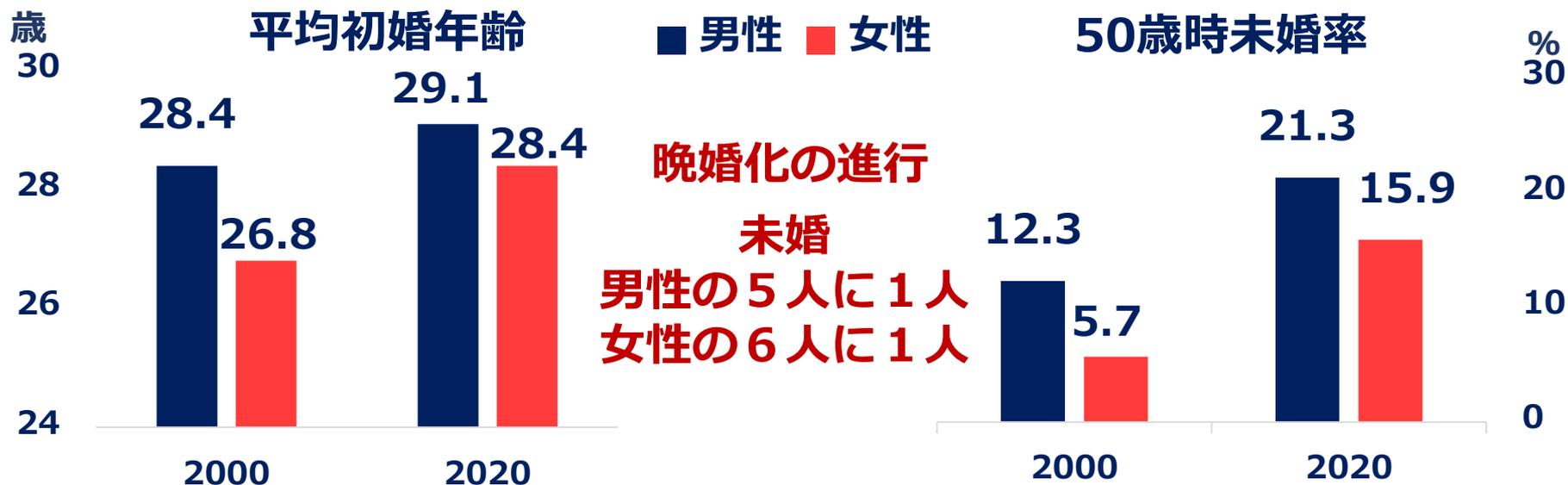


高校生の進路状況



鹿屋市外を希望する主な理由(R5)	割合
都会で暮らしてみたい	20.5%
地元を離れて一人暮らしがしたい	19.4%
希望する企業が市内にない	9.9%

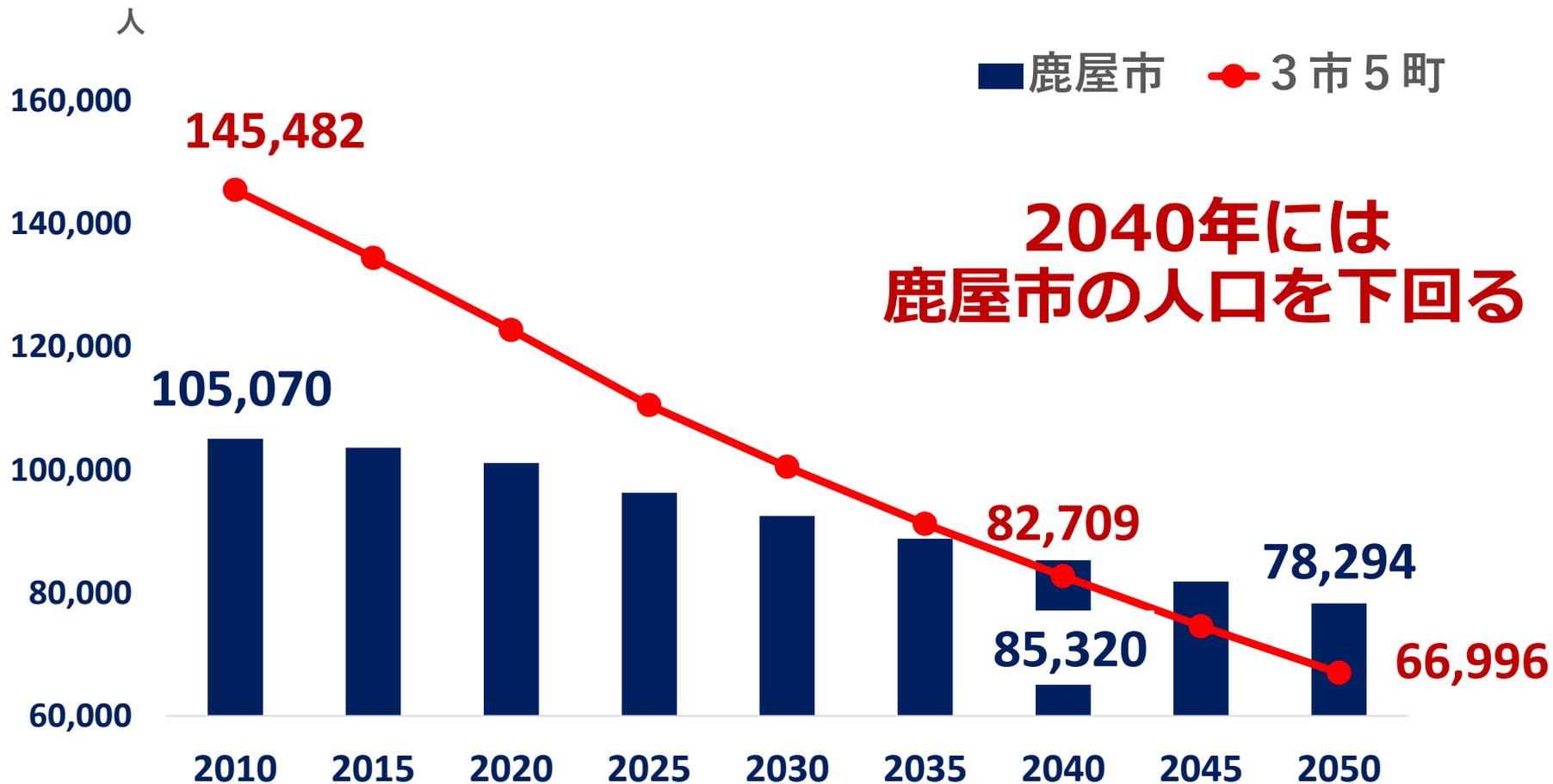
合計特殊出生率は国・県より高いが 2011年をピークに減少



独身でいる理由

- 理想の相手にめぐり会わない
- 自由や気楽さを失いたくない
- まだ必要性を感じない
- 趣味や娯楽を楽しみたい
- 結婚資金が足りない

本市を除く大隅半島 3市5町の人口減少が著しい



➤ 人口減少対策・大隅地域の防波堤

人口減少が進むと・・・

産業・雇用への影響

働く人口が減少

- ・ 企業や農業等の労働力・担い手不足
- ・ 人口規模の縮小による生活関連サービス業の撤退、縮小
- ・ 高齢農家の離農増加や荒廃農地の拡大等



地域生活への影響

高齢化や担い手不足

- ・ 共助機能の低下
- ・ 学級数の減少、学校再編
- ・ 地域公共交通の減便
- ・ 空き家の増加、景観の悪化



様々な
社会的・経済的
課題の深刻化



医療・福祉対策への影響

高齢者が増加
支える生産年齢人口が減少

- ・ 医療や介護の需要の増加
- ・ 社会保障制度の維持が困難に
- ・ 支えるサービスや人材の不足



行財政サービスへの影響

税金など歳入が減少
社会保障関連経費等が増加

- ・ 財政の硬直化
- ・ 公共施設、インフラの老朽化等への対応が困難に
- ・ 行政サービス水準の低下

➤ 人口減少対策ビジョン (2023年策定)

鹿屋市人口減少対策ビジョン

～2060年に9万人程度の人口を維持する～

4つの重点
プロジェクト

1.働きたくなる・住みたくなるプロジェクト

(社会減対策)

- ・ コワーキングスペースの整備や新たな産業用地の確保
- ・ 移住サポートセンター相談支援等

2.みんなで育む

「かのやっ子」プロジェクト

(自然減対策)

- ・ 出会いや結婚へのサポート
- ・ 子育て支援の充実
- ・ 若者の人生設計へのサポート



3.来未につながる地域づくりプロジェクト

(持続可能な地域づくり)

- ・ 地域経営へのチャレンジ
- ・ 地域課題解決への取組強化

4.かのやしビックプライドプロジェクト

(まちへの誇りや愛着の醸成)

- ・ まちの特性を生かした魅力づくり
- ・ まちに誇りや愛着をもつ人づくり
- ・ まち・人・環境に優しい地域づくり

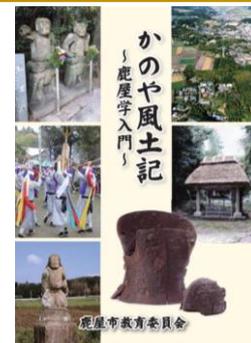


目指せ！かのやマスター：地域の案内人

◆かのやふるさと検定◆

歴史・文化・自然・生活などを総合的に学ぶ！

鹿屋市の魅力再発見



産業

農林水産業の振興
販路開拓・地域ぐるみの6次産業化
雇用・創業
多様な働き方
企業立地
交流人口



©鹿屋市

➤ 人口減少が進む中であっても
地域の活力を維持し、産業の発展を目指す

鹿屋市の農業

耕地面積 (ha)

耕地面積はR4面積調査、荒廃農地面積は鹿児島県「荒廃農地の発生状況」

総土地	耕地	田耕地	畑耕地	荒廃農地
44,815	9,270	1,970	7,300	932



耕地利用状況 (ha、令和4年)

水稲	さつまいも	野菜	果樹・花き・花木	茶	飼料作物	その他
1,150	1,639	1,383	67	356	5,345	60

農業産出額 (千万円、令和4年)

令和4年市町村別農業産出額 (推計)

農業産出額 A+B+C	耕種 A								加工農産物B
		米	いも類	野菜	果樹	花き・花木	工芸農作物	その他	
4,601	1,136	100	244	458	3	273	50	8	17

畜産 C

肉用牛	乳用牛	豚	鶏
1,803	133	1,103	409



農業の振興

農業産出額は全国9位で国内トップクラス (畜産は全国5位)

国内外の厳しい環境変化と闘える足腰の強い農業経営の確立を支援
～鹿児島県は日本一の和牛産地（第12回全国和牛能力共進会）～

従事者の減少・高齢化の一方、
経営規模の拡大、法人経営は増加

- ✓ 従事者の高齢化や担い手不足
新規従事者、後継者の確保
- ✓ 担い手不足にあっても、生産性
向上・収益向上に向けて
農地集約、経営規模拡大支援、
IoT等の先端技術を活用した
スマート農業の推進

※IoTとはIT機器を活用した省力化・高品質化

- ✓ 地域ぐるみの6次産業化などの
高付加価値化 販路開拓・拡大

持続可能な 「農のまちかのや」 の構築

- ☞ 担い手の確保
- ☞ 生産基盤の強化
- ☞ 農村環境の保全
- ☞ 加工・流通・販路開拓



かのやなら、かのーや!
鹿屋市

担い手の確保

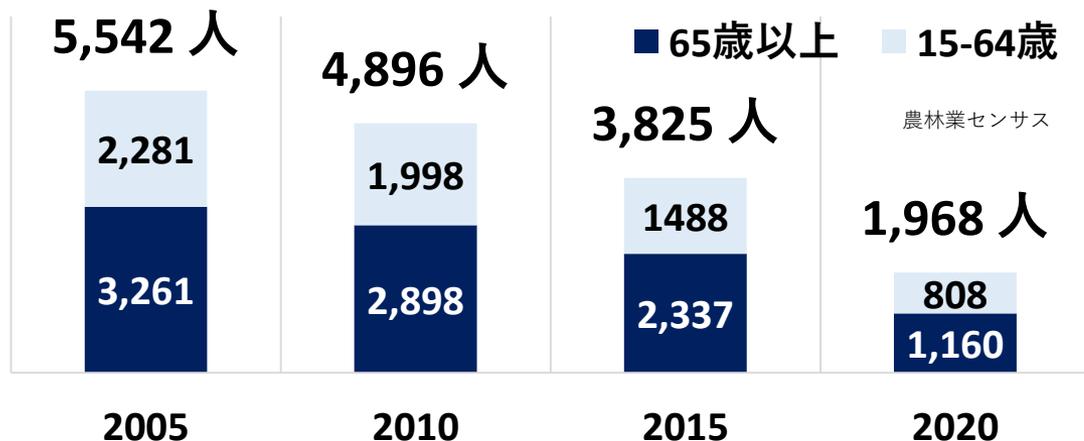
毎年度10人以上の新規就農者を確保



新規就農者就農支援 農業後継者就農支援 多様な担い手への支援

- ☞ 新規就農者に対する就農前の研修の生活支援
- ☞ 農業後継者の規模拡大に係る機械等の整備補助
- ☞ 集落営農、兼業農家、農福連携など多様な担い手に係る機械等の整備補助

普段仕事として農業に従事している人の数



○農業者数が減少する中、本市では

- (1) 経営面積5ha以上の農業者の割合が多い（鹿屋市：15.1% 県：11% 全国9.6%）
- (2) 法人の認定農業者が増えている（平成26年：104経営体 → 令和5年：157経営体）
などから、経営の大規模化が進んでいる。

農業者数は減少

経営形態の別にかかわらず、
多様な担い手を確保・育成
する必要がある

新規+後継者 担い手確保・育成

(2014~2023)

127人



生産基盤の強化



農地の集積・集約

☞ 中核的な担い手への農地の集積・集約を推進

担い手等への貸し付け **857ha**
東京ドーム約183個分
(2015~2023)

荒廃農地・遊休農地の解消

☞ 農地利用の実態把握（利用状況・利用意向調査）など

「地域計画」策定中

(10年後も担い手が農地を有効活用するための計画)

生産力の高い基盤の整備

☞ 経営の大規模化や施設・機械整備などを支援

機械・施設整備への補助
(ハウス設置、トラクター導入等)

スマート農業の推進

☞ 労働力不足や生産性の向上等の課題に対応

47件導入実績 (R1~R5)

環境制御装置 24件
農業用ドローン 12件
ロボットトラクター 2件 ほか

畑かん営農の推進

☞ 畑かん施設を活用した水利用効果の高い作物の推進

輪作の取組への補助
(さつまいも等の後作に、ごぼう、にんじん等の作付けを推進)

農村環境の保全・農業に親しむ

環境保全型農業の推進

- ☞ 環境への負荷を軽減し、持続可能な農業を推進
- ☞ 土壌診断に基づく適正施肥と土づくりの推進
- ☞ 有機農業の取組への支援

ビニールハウスで使用する暖房機の熱源を化石燃料から電気への切替えを推進

環境に配慮した営農活動に取り組む
農業者団体等への支援

「鹿屋市有機農業推進方針」

の策定（令和7年3月予定）

鳥獣被害対策

- ☞ 侵入防止柵や緩衝帯の設置等
（被害：イノシシ76%、イモ類の被害が最多）

侵入防止柵の整備（H23～R5）

総延長：約17km

多面的機能の維持・発揮

- ☞ 地域の共同活動に対する支援

活動組織への支援
（交付金：R5）

38組織

農業に親しむ機会の提供

- ☞ 市民ふれあい農園や黒羽子観光農園等での農業体験会



畜産収益力の向上と生産基盤の拡大

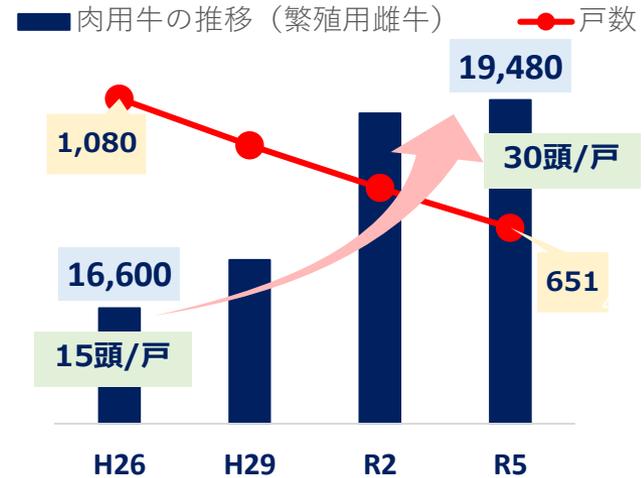
- ☞ 規模拡大や収益性の向上のための施設整備等を支援
- ☞ 畜産環境改善を図るための施設・機械整備等を支援
(畜産クラスター事業等)

施設整備
(2016~2023)
35件

機械導入
(2016~2023)
641件

畜産の産出額
全国 **5位**

- 肉用牛頭数：約2割増
- 戸数：約4割減
- 1戸当たりの飼養頭数は10年で倍増



臭気対策

- ☞ 臭気対策資材の活用
(EM菌培養液、アンモニアメッシュ等)
- ☞ 畜産環境パトロール・巡回指導の強化
- ☞ 自己処理施設放流水水質検査の実施
- ☞ 臭気の原因・対策の検証
(外部の専門家による臭気の発生源等)

臭気に関するアンケート結果

項目	R5	R4	増減
臭気を感じる	58.0%	60.3%	▲2.3%
前年と比較して においが 少なくなった など	35.5%	15.9%	19.6%

**畜産農家の規模拡大の支援や
臭気対策の強化による環境と調和した畜産振興**

水産業の振興

日本でもっとも古くからカンパチ養殖がはじまったまち
海面養殖水揚高 (総生産額の99.1%)

35億円
(2013)



47億円
(2023)



物価高騰への 支援

(えさ、養殖種苗等)

- ☞ 経営の安定
- ☞ 生産量の維持

カンパチ生産量
(2022年度)

全国シェア：15%
県内シェア：26%

養殖の 魅力発信

- ☞ 養殖従業員の確保
- ☞ 次世代へ経営承継



販売促進

- ☞ 新加工場の整備
800尾⇒2,700尾/2時間
26万尾⇒40万尾/年



- ☞ 高次加工
フィレ、ロインのほか、
刺身パック・漬け丼セット等
- ☞ 浮棧橋の整備

市面積の約52%が森林(23,088ha)

民有林69% (15,837ha)

国有林 31% (7,251ha)

森林の主な機能

(森林の多面的機能)

👉 地球温暖化の防止

👉 災害防止 (表土浸食防止)

👉 水源のかん養 (水資源貯留、水質浄化)

世界では1分間に
東京ドーム2つ分の
森林が消失
(2010~2020年平均)

鹿屋市豊かな森林づくり推進協定

市国県、大隅森林組合など7関係機関 (H27年締結)

目的

👉 森林の持つ機能の持続的発揮

👉 地域における林業と木材産業の再生

環境の変化

👉 戦後に植えた人工林が伐採期

👉 社会的環境意識の高まり など

豊かな資源を次世代へつなぐ森林づくり

鹿屋市森林・林業振興計画

(R5.3策定)

👉 林業生産額：2割アップ

(85千万円 → R14年度：102千万円)

👉 木材生産量：1割アップ

(73,000m³(立米) → R14年度：80,000m³)

👉 再造林率：3割アップ

(53.2% → R14年度：70.0%)

森林環境譲与税を活用した取組

森林整備

私有林の整備支援

人材育成

装備等の経費支援

木材利用

森林認証の取得

普及啓発

森林体験学習

販路開拓 地域ぐるみの6次産業化



➤ 農林水産物・加工品の販路開拓

- ☞ バイヤー等の招聘（商談機会の提供）
- ☞ 展示会や商談会等への出展支援
- ☞ 海外におけるプロモーション活動、関係機関と連携した輸出の推進など

➤ 地域ぐるみの6次産業化の推進

- ☞ 商品開発支援（21件：R1～R5）
- ☞ 異業種交流の場の創出
「食・農ビジネスかのや未来フォーラム」（R4）
- ☞ 食品加工企業の立地促進
H26以降で5社立地（新設）

国内

バイヤー等との商談機会の提供

商談成立（契約）

（2017～2023） **340件**

国外

海外でのプロモーション活動等

輸出実績

（2017） 約2千万円 **▶** （2023） **約15.3億円**

区分	品目	
2023年度 主な 輸出内訳	さつまいも	約8.5億
	和牛	約6.6億
	その他	約0.2億

企業の採用活動の支援

マッチング数
就職につながった人数
(2021~2023)
※R6.10月集計時点

合計
227人
68社



合同企業説明会

👉 企業の担当者と直接面談

求人情報発信支援事業

👉 事業者の採用活動を支援

企業見学会

👉 高校生の地元企業訪問バスツアー

地元企業の人材確保

創業（起業）を支援

令和5年度創業者：**24人**

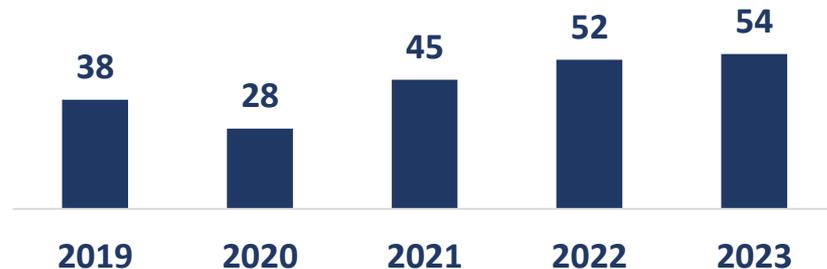
業種	件数	業種	件数
サービス業	6	建設業	2
卸・小売	5	製造業	2
飲食	4	情報通信業	1
医療・福祉	3	教育・学習支援業	1

創業応援ネットワーク連絡会議

鹿屋市、鹿屋市産業支援センター、鹿屋商工会議所
日本政策金融公庫（鹿屋支店）、かのや市商工会

創業支援件数

※各支援機関からの報告を積上げ（延べ件数）



都市と地方を結ぶ「共に働き、共に創る交流拠点」



コワーキングスペース

- 👉 転職なき移住・2拠点生活の実現！
- 👉 職種や仕事異なる利用者の交流！

良いアイデアが浮かばない

フリーランス



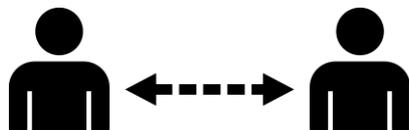
情報を得る機会が少ない

個人事業主



- ・良いアイデア！
- ・新しい情報！
- ・新しい人脈！

RINA BASE+で交流



かのや女子起業ラボ

女性向けの起業スクール

かのや共創ラボ

地元企業と都市圏企業が協力し、新たなビジネス等を創出する

フリーランスや副業など多様な働き方ができる環境づくり
新たなビジネス等の創出

企業の進出・定着を支援

企業立地 (2014~2023)
26件 新設10件・増設14件・移設2件
 新たな雇用 **約500人**

各種支援

工場等用地取得、建物・機械設備、
施設賃借料など



新たな産業用地の確保
若者やU I Jターンの受け皿

鹿屋市 電子関連産業にとっても見逃せない選択肢に

交通アクセスに優れ、迅速な確保を可能とする
約28ヘクタルの魅力的な産業用地が新たに誕生

国内における産業用地の不足が指摘される中、青島(中国)を生産拠点を設けた「白中」がある。鹿屋市も同様だ。市内には現在、約28ヘクタルの産業用地の整備計画が立てられ、鹿屋市と隣接する高千穂町を隔んで建設が進められている。本市のほぼ中央に位置する鹿屋市は、約10万人の人口を有し、かつて大隅地域の交通・通信・経済・文化の拠点としての役割を担ってきた。近年も複数の企業が工場を新設して来り、その立地環境は高く評価されている。

高速度道路へわずか5分
港灣までも車で約30分

「新たに用地を確保するのは、鹿児島県産業振興執行センター大隅支店の誘導です。約28ヘクタールがあり、企業の実践にできる限り広大な敷地を確保し、周辺環境を整えていく予定です」
 中内亮雄市長はそう話す。今度あ

交通利便性を備えた鹿屋市の産業用地(開発予定)



れば企業が現状のまま土地を購入し、オーダーメイドで工場を建設することが可能。また、企業への売却が決まった段階から市が環境整備を行う方法なども考えているという。

「鹿屋市の産業環境が整って来化する中、今回の開発予定地の第一の魅力は交通利便性にある。東九州自動車道につながる大隅線延伸の鹿屋IC(約5分)と、また、5分ほどで高千穂道路にアクセスし、そこから、南九州中核国際空港の本市空港へも車で約30分。本市空港からは大隅、東京、神奈川、上海、青島、釜山、台中へも定期便が運行され、国内外への海上運輸もサポートする。「さらには、アジアへ多くの路線を持つ鹿児島湾へも車でおよそ60分です。さらに、陸・海・空の良好なアクセスを確保できます。例として九州各地半導体工場の新設が続く中、それらと連携してソフトウェアを構築するのにも鹿屋市は適した場所です。市としても、電子・IT産業を主要な成長産業に位置付けています」

地域資源を生かした観光ツーリズム

平和ツーリズムの推進

- ・ 戦争遺跡の保存整備
- ・ 戦争に関する資料収集
- ・ 平和学習ガイドの養成・活用

戦跡VR映像 (計3種類)

- ① 串良第一地下壕電信室
- ② 串良平和公園
- ③ 進駐軍上陸の碑
- ④ 高須トーチカ
- ⑤ 川東掩体壕
- ⑥ どっ菜市場



豊かな自然や食を活かした誘客

修学旅行生の受入

4校

(2019)

6校

(2023)

民泊の登録件数

46家庭

(2019)

55家庭

(2023)



スポーツ合宿まちづくり

合宿延べ人数県内トップクラス

■ 延べ宿泊数 □ 経済波及効果



過去最高

新型コロナウイルス

かごしま国体・大会

地域や団体と連携した合宿の推進

『する』
鹿屋体育大学での測定によるパフォーマンス向上



『みる』 市民とトップアスリートとの交流



『ささえる』
地域団体による豚汁のふるまい

- 鹿屋体育大学等との連携や運動施設を生かしたスポーツ合宿・大会の推進
- スポーツ交流人口の増加と地域・経済の活性化

スポーツ関係施設再配置計画に基づいた施設整備

誰もが日常的にスポーツに親しむ環境づくり

スポーツ交流の拠点

平和
公園

野球場
屋内練習場
多目的グラウンド
平和アリーナ
(床、LED、駐車場等)



- ☞ 鹿屋市体育館・武道館の空調設備設置
- ☞ 鹿屋運動公園 陸上競技場のウレタン舗装
- ☞ 高隈艇庫、中央公園テニスコート、かのやグラウンド・ゴルフ場の改修など



2025年秋完成予定 野里運動施設の整備



鳥瞰図イメージ

- ☞ サッカー場 1面
(少年用 2面)
- ☞ テニスコート 10面
- ☞ ウォーキングコース

子育て

子育て支援の充実
教育環境の充実
学校跡地の活用

➤ 地域社会全体で協力し合いながら
子どもたちが健やかに
成長できる社会を築く



子育て支援の充実：子育て世帯への切れ目ない支援

	妊娠時期	出産～3か月	3か月～6か月	6か月～1歳	1～3歳	3歳～就学前	就学後
健康診断	妊婦健康診査	産婦健康診査					
	妊婦歯科健診	乳幼児健康診査					
	予防接種						
支援事業教室	鹿児島子育て支援パスポート事業（18歳未満） 子育て支援アプリ「かのや育memo」	妊娠から出産、育児までの必要な情報等で、子育てをサポートするアプリ					
	チャイルドシート無料貸出事業						
	かわいい孫への贈り物事業	12,000円分の育児用品購入助成金をプレゼント					
	パパママ教室						
	妊婦訪問	新生児訪問	離乳食教室				
		産後ケア事業（訪問・宿泊・日帰り）					
	母子相談						
手当助成	出産・子育て応援給付金						
	妊婦初回産科受診料助成						
	出産育児一時金						市立小中学校給食費を全額支援 就学援助 給食費無償
	未熟児療育医療						
	自立支援医療（育成医療）						
	児童手当 児童扶養手当						
	こども医療費助成						
あずけるあそぶ	雨の日でものびのび遊べる						
	あそVIVA!かのや						
	つどいの広場						
	ファミリーサポートセンター	子どもの送迎や預かり等の育児支援を有償で受けられる					
		保育所・認定こども園					
	病児保育（～中学校入学前）			幼稚園（2歳児預かり～小学校入学前）		放課後児童クラブ	
	休日保育・一時預かり						

子育ての経済的負担の軽減

3～5歳児:保育料無償
0～2歳児:非課税世帯

保育料

無償化

子ども医療費

18歳の3月末まで
非課税世帯に現物給付

小・中学校
学校給食費



妊婦初回産科受診料助成

**1か月児
健診費**

R6.4～

**助成
給付**

**出産・子育て
応援給付金**



不妊治療費助成

977件 (2015～2023)

**かわいい孫への
贈り物**

安心して子育てができる環境づくり

ファミリー・サポート・センター

子どもの預かり・送迎、家事支援
R5利用会員：322人 サポート会員：287人

伴走型相談支援

助産師・保健師による専門的きめ細かい支援

情報発信

・子どもの成長に応じた情報の配信
・予防接種の管理・通知機能 など



産後ケア

産後の心理的・身体的な負担を軽減

チャイルドシート無料貸出

R5 貸出：302件

安心して子育てができる環境づくり

交流

あそVIVA!かのや
つどいの広場 (8か所)



イベ
ント

かのやわくわく
キッズまつり



Help

一時預かり (13か所)

(保護者の病気、仕事、出産等で預けたい)

休日保育 (1か所)

(日曜・祝日に仕事等のため家庭で保育できない)

病児保育 (1か所)

(病気で保護者が仕事等のため家庭で保育できない)

育む

放課後児童クラブ

18か所

(2007)

▶ 35か所

(2023)

寺子屋事業

2か所

(2016)

▶ 31か所

(2023)

早期
発見

母子相談、乳幼児健診
保育園等への巡回訪問

早期
療養

通所支援

☞ 児童発達支援

☞ 放課後等デイサービス

障がい児への支援

その
他

レスパイトケア等

(日中一時支援、短期入所)

医療的ケア児への支援

☞ 保育所等の受入体制の整備を支援

☞ 通院通学などの送迎負担を軽減

(タクシー料金助成) など

訪問支援 (居宅介護等)

学校施設の整備

学校施設長寿命化計画に基づく施設整備
(2021~2030)

老朽化への対応
校舎等を整備



小学校 16 校
中学校 8 校

大規模整備

学校	完成
祓川小学校	2023.1月
下名小学校	2023.2月
笠野原・寿・西原小体育館	2024.2月
上小原中学校	
吾平中学校	
西原台小学校	整備中 (R6年度完成予定)
東原小学校体育館	

空調の整備

空調化率 (2024.3末)

	普通教室	特別教室
小学校	100%	93.4%
中学校	100%	92.6%

トイレ洋式化、バリアフリー化など



祓川小学校 校舎



寿小学校 体育館

鹿屋女子高等学校の活性化

新校舎の完成



なのはなホール（多目的ホール）



総合選択制

～自分で選ぶ、自分にピッタリな授業～
地域の専門家やプロが教える

総合選択科目：12科目

好きな科目を**選べる**

科目

アプリ開発

科目

ブライダル

科目

医療事務

定員充足率・生徒数は上昇

77.5%

465人
(2018)

83.5%

501人
(2024)



学校教育の振興、地域社会の発展、人材教育の強化

☞連携協定：鹿児島純心女子短期大学
鹿児島女子短期大学

部活動の支援

☞鹿屋体大との連携
☞楽器寄附ふるさと納税

保護者、地域住民と共通認識を図り、学校再編を検討

児童・生徒数は1975年から
2024年にかけて6割に減少



国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」
に基づきまち・ひと・しごと創生本部作成



合併後の学校再編

小学校数	31校	▶	23校
中学校数	14校		12校

学校規模適正化

小学校の約7割

中学校の約8割は小規模校

	過小規模	小規模	適正規模	大規模
小学校	6	9	7	1
中学校	0	10	1	1

一定規模以上の学級数を確保し、

児童生徒にとって良好な教育環境を整備

不登校児童生徒への支援や未然防止

不登校児童生徒数（鹿屋市）

小学生	16人	▶	59人	合計
中学生	99人		164人	
	(2014)		(2023)	(2023)

1,000人当たりの 不登校児童生徒数

23.9人	37.2人	35.1人
(鹿屋市)	(全国)	(県)

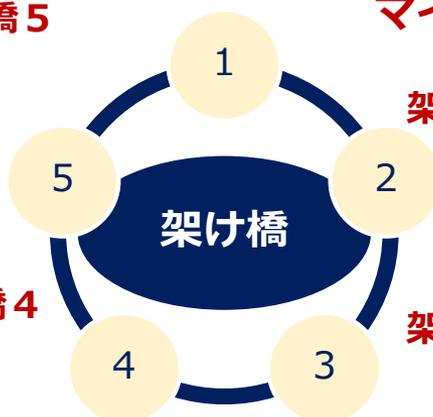
心の架け橋 プロジェクト

- ☞ 学校の教育相談体制の充実
- ☞ 学校復帰を含めた社会的自立に向けた支援や指導

架け橋1. マイフレンド相談員（9人） ☞ 児童生徒の
マイフレンド指導員（3人） 相談相手

架け橋5
いじめ第三者委員会

☞ 重大事案発生時に対応



架け橋2.
スクールソーシャルワーカー（3人）
☞ 必要な支援につなぐ（関係機関との連携）

架け橋4
子どもサミットの開催

架け橋3.
スクールカウンセラー（5人）
☞ 児童生徒のカウンセリング

☞ 児童生徒の意識啓発
自主的な取組を推進

旧菅原小学校

～ユクサおおすみ海の学校～

☞ 体験型宿泊・観光施設

	R1	R2	R3
宿泊 人数	3,141	2,653	2,666
	R4	R5	
	3,433	3,003	

	R1	R2	R3
キャンプ 利用 人数	70	666	3,629
	R4	R5	
	3,298	3,256	



旧神野小学校

☞ キャンプ場



旧平南小学校

☞ サツマイモの選別、出荷等



旧高尾小学校

☞ キクラゲの菌床栽培

旧高須中学校

☞ スケートボードパーク

☞ ドローンフライトパーク

旧浜田小学校

☞ キャンプ場

☞ レンタルオフィス等

暮らし

新型コロナウイルス感染症
高齢者の暮らし、医療・福祉、スポーツ
地域経営、多文化共生
持続可能なまちづくり、生活基盤、環境

- 豊かで充実した暮らしを守るため、
個々人、地域、社会全体で力を合わせ
一人ひとりが安心して暮らせる環境を整える



新型コロナウイルス感染症

(世界的大流行)

2019年12月

第1例目の感染者報告

2020年1月

国内最初の感染者確認

2020年4月

緊急事態宣言

2023年5月

5類感染症へ移行

医療体制の構築

医療機関との連携

市民の皆様・事業者の善意

マスク、飛沫感染予防具、非接触型体温計、福祉施設へのお茶の寄贈など

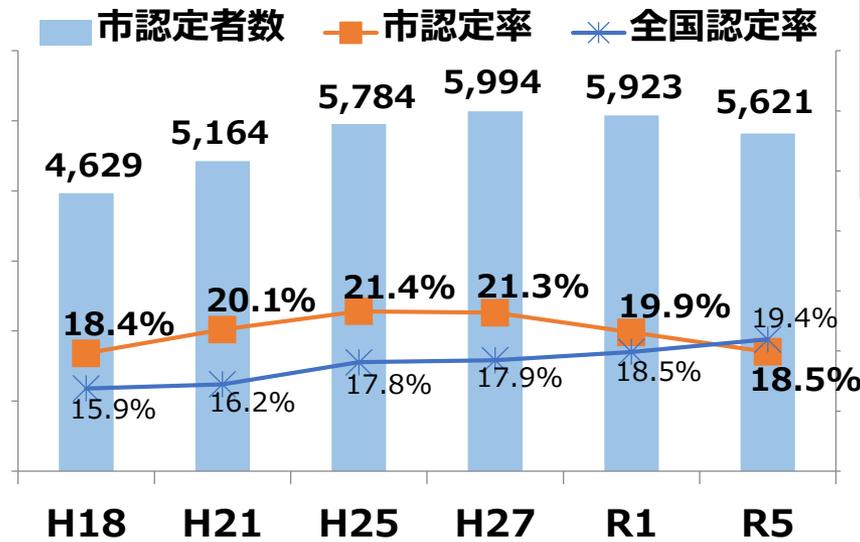


新型コロナウイルス感染症対策

- ☞ 事業者等支援（飲食業支援、休業協力金等）
- ☞ 市民生活支援（特別定額給付金、水道料金の減免等）
- ☞ 感染拡大防止（PCR検査等）
- ☞ ワクチン接種など

○介護認定者と認定率は低下

○要介護3～5の中重度認定者の割合が多い



(出典:地域包括ケア「見える化」システム) 2023年度版「高齢社会白書」

認定別割合と65歳以上1人あたり介護給付月額

区分	要介護3～5	要介護1～2	要支援1～2	65歳以上1人あたり介護給付月額
国	6.5%	7.3%	5.6%	20,683円
県	6.9%	6.9%	5.1%	21,103円
市	7.4%	6.9%	4.2%	24,136円

出典:地域包括ケア「見える化」システム
認定別割合: R5年度実績 65歳以上1人あたり介護給付月額: R3年度実績

区分	国	県	鹿屋市
施設サービス	7,318	7,933	6,770
住居系サービス	2,609	3,013	4,154
在宅系サービス	10,756	10,156	13,211
総額	20,683	21,103	24,136

介護保険制度とは

介護を要する人を社会全体で支える仕組み
介護度が高いほど、必要な介護サービスが多くなり、費用も高くなる

介護保険料は高くなる

地域住民が気軽に集える場所づくりを通じた

「健康づくり」や「仲間づくり」の推進

運動サロン



(2016)

(2023)

参加者：100人

2,063人

サロン数：6か所

123か所

その他サロン



(レクリエーション、茶話会等)

(2016)

(2023)

参加者：2,157人

2,782人

サロン数：123か所

157か所

鹿屋体育大学等との連携

☞ 介護予防等につながる活動を展開

サロン活動の普及・拡大

☞ 高齢者サロン等加入促進事業

☞ 高齢者運動サロン育成事業

ボランティアによる地域貢献活動や健康づくり活動の推進

☞ 高齢者元気度アップ・ポイント事業

☞ 高齢者地域支え合いグループポイント事業

鹿屋市調べ



みんなで集まる通いの場・介護予防に携わる方々へ
こんな困りごとはございませんか？

- ☐ こげなことで困っちゃう
- ☐ 通いの場のネタに困っちゃう
- ☐ 支援する方々も(事業所向け)



あなたのその困りごと、ご相談ください。
色々な運動や生活の工夫、お口の健康などをご相談できる
リハビリ職、栄養士、保健師等があなたを支援いたします。

介護認定者のうち認知症の方

(鹿屋市：R6.10.1)

3,807人

認知症高齢者 (鹿屋市・2023)

65歳以上の8人に1人

(国の推計) 2060年には
65歳以上のおよそ6人に1人

行方不明者で
市に捜索願のあった方
(R5年度~R6現在：鹿屋市調べ)

10人

うち
認知症の疑い

4人

認知症本人やその家族を
地域ぐるみでサポート

認知症になっても、本人の意思が尊重され、
住み慣れた地域で暮らし続けられるまち

認知症サポーター養成講座

認知症の正しい知識と理解、本人や家族を支援

声かけ訓練

地域における見守り支援の強化等

チームオレンジ

本人・家族のニーズと認知症サポーターを中心とした支援をつなぐ仕組み

行方が分からない時のために
GPS貸与・見守りシール交付



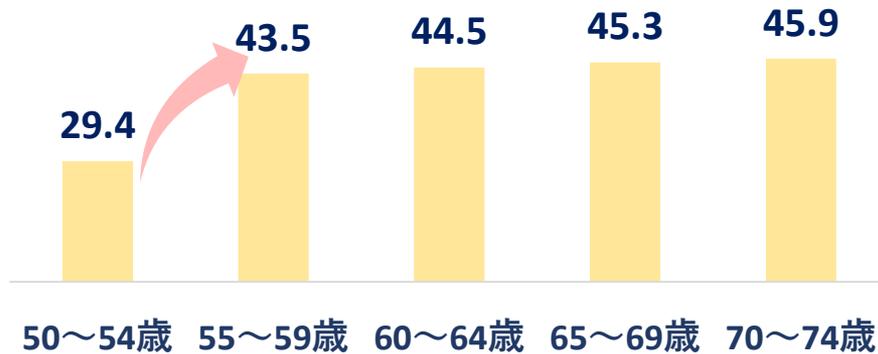
チームオレンジコーディネーター
高齢福祉課に配置

年間医療費は全国より高く、55歳以降で急増 (国保加入者一人当たり)

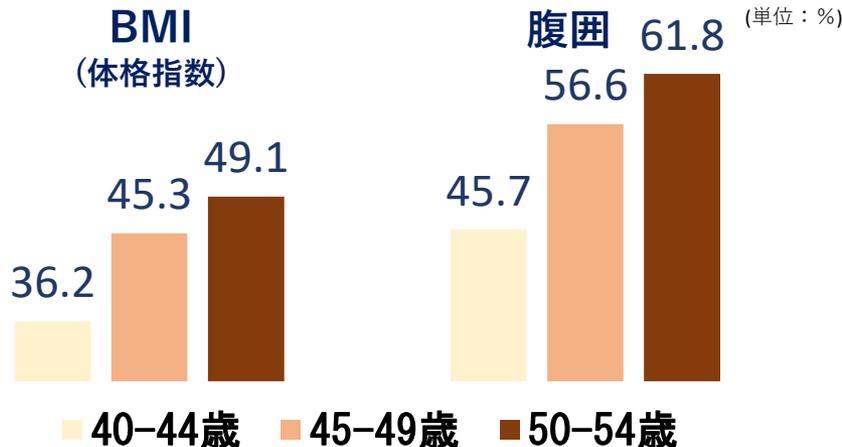
一人当たり年間医療費の推移 (単位：万円)



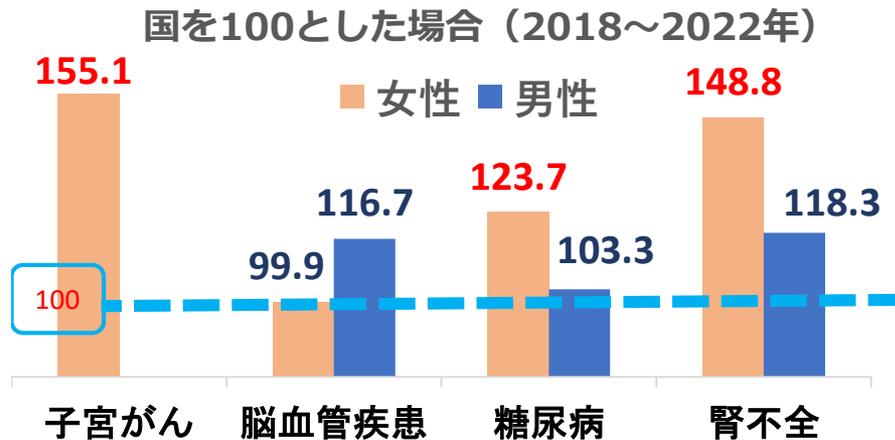
R4年代別一人当たり医療費 (単位：万円)



BMI(体格指数)・腹囲の基準値オーバー割合



腎不全、糖尿病、子宮がんの死亡割合が高い



子育て世代や働き盛り世代の健康診査

市国保加入者のR4健診受診率
県内17位／19市

生活習慣の改善ができず
生活習慣病を発症する恐れがある



◆ 若年層からの健康教室

◆ 受診機会の提供

- ・ 健（検）診の予約制（待ち時間短縮）
- ・ 土日祝日や夜間健診の実施

◆ 女性の健康づくり支援

- ・ レディース健(検)診の実施

生活習慣病予防と早期発見のため
「健診」が重要

30歳代健診・特定健診

異常値が認められる人の割合は年齢とともに上昇

若い頃からの
健康に対する意識づけが大切

ひとり1スポーツの推進



スポーツ実施率は年々上昇 全国を上回る

スポーツの効果

体力の向上、ストレスの発散、生活習慣病の予防 など

自分に合ったスポーツを見つけよう！

▶ グラウンド・ゴルフ、サイクリング、ウォーキング、ニュースポーツ（簡単なルール、誰でもできる）など

かのや健康・スポーツクラブ (総合型地域スポーツクラブ)

- ・バドミントン
- ・テニス
- ・ヨガ、3B体操 など



NIFSスポーツクラブ (総合型地域スポーツクラブ)

- ・体操
- ・サッカー
- ・陸上 など



市民講座 (公民館、学習センター)

- ・ノルディックウォーキング
- ・ウェルネス吹矢
- ・太極拳 など

鹿屋体育大学との連携

大学スポーツを通じた地域サービスやスポーツを「する・みる・ささえる」体験を提供

連携
協定

健康づくり

- ・健康づくり推進員養成
- ・高齢者へのフレイル予防 など

スポーツ合宿

- ・トップアスリートの誘致
- ・パフォーマンス測定 など

部活動の支援

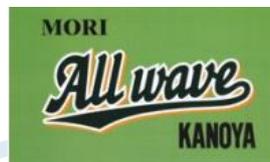
- ・なのはなアスリートサポート (体力・スキル測定、指導など)



本市拠点のプロチームとの連携

CIEL BLEU KANOYA
(シエルブルー鹿屋)

(2015年設立)



MORI ALL WAVE KANOYA
(モリ・オールウェーブ・カノヤ) (2020年設立)

地域の暮らしに根付いた様々なコミュニティ活動

町内会の地域活動

交流事業

環境保全

☞ごみステーション管理
清掃活動等

防犯

☞防犯灯、見守り活動等

自主防災

☞届出避難所等 など

地域で支え合う

ボランティア活動

☞子ども食堂（市内10）

有償ボランティア活動

☞10組織：ゴミだし、庭作業など



地域づくり

コミュニティ協議会
（中学校区単位で設立）

地域住民が主体的に
地域課題の解決に取り組む

☞伝統行事の継承

☞地域外との交流促進

☞高齢者等の生活支援
など



共生・協働によるまちづくりを推進

町内会活性化支援交付金（1,027件：R1～R5）

☞地域の活力を推進する町内会活動等に対する支援

町内会ネットワーク推進事業交付金（24件：R1～R5）

☞複数の町内会等で組織した団体に取り組む地域活動を支援

外国人（地域の重要な担い手）と日本人の交流



アンケート結果

困ったときの相談相手
1 職場・学校の日本人
2 友人（日本人以外）
3 家族（日本以外在住）

困り事・知りたい情報
1 税金
2 日本語学習
3 災害時の対応

言葉や地域のルールが分からない外国人を支える



多様性を認め合い 共に歩む社会

【イングリッシュカフェ】
気軽に英語を話せる場の提供

【生活便利手帳】
行政手続きを6か国語で紹介

【異文化交流ひろば】
地域住民との意見交換・文化交流

【日本語教室】【生活支援】
民間「あいうえおおすすめ」の支援

まちづくりの課題

人口減少、高齢化
市街地拡散の進行

市街地のスポンジ化
人口密度の低下 税収減少
インフラ維持の
コスト増加



多極ネットワーク型 コンパクトシティ

誰もが安心して
生活できる
持続可能なまち



【主な取組】

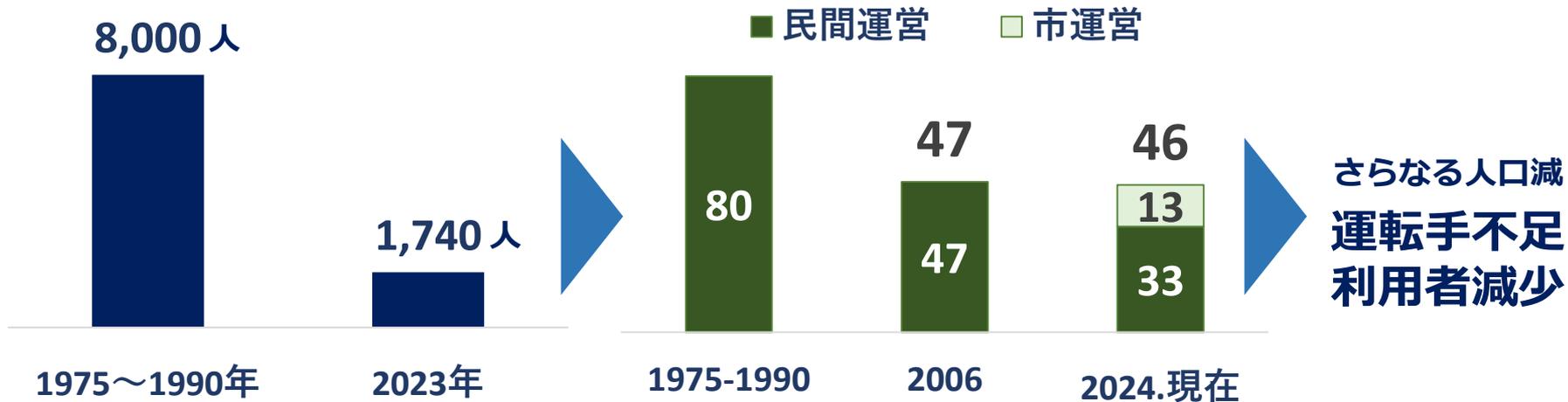
- 区域内の居住を後押しする住宅取得支援
空き家解体補助
- 老朽化した都市インフラの計画的改修
- 中心市街地の低未利用地の利活用
- 主要な幹線道路や都市計画道路の整備
- 浸水被害等を軽減する排水路整備 など



地域交通の維持・確保

1日当たりバス利用者は激減

民間と行政でバス路線を維持



さらなる人口減
運転手不足
利用者減少

移動手段の確保と利便性向上のための **公共交通サービスの最適化**

ダウンサイジング、経路やダイヤの最適化

くるりんバス

乗合ワゴン (公共ライドシェア)

3系統

- ①花岡・上野線
- ②吾平・川東線
- ③輝北線

乗合ワゴンのメリット

- ・自宅付近で乗り降り可能
- ・予約制 (無人走行なし)
- ・最短経路での運行が可能 (定期路線でないため)



災害名

気象状況

主な被害の状況

平成28年
台風16号

最大瞬間風速40m
総雨量341mm

高隈・輝北・串良地区で橋梁の流失や損壊が発生
家屋被害100棟、道路被害432箇所、農地被害90箇所

令和元年
7月豪雨

総雨量1,014mm

輝北地域で大規模な土砂崩れ等が多数発生
家屋被害93棟、道路被害475箇所、農地被害114箇所

令和2年
7月豪雨

**観測史上最大
時間雨量
109.5mm観測**

新川、祓川、串良地区等で浸水被害が発生
家屋被害242棟、道路被害512箇所、農地被害163箇所



令和4年
台風14号

最大瞬間風速36m
総雨量410mm

全域で法面崩壊・崩土、路肩決壊等が発生
道路被害403箇所、農地・農道・水路等被害140箇所

総合雨水排水対策 (浸水・冠水への対応)

道路冠水被害の改善
(国道269号・札元地区)



整備前



整備後

冠水カ所

59か所
(2014)



27か所
(2023)



平常時



大雨時



雨水貯留状況
(新川寿東公園)

総合雨水排水対策事業計画

- ☞ 幹線排水路等の整備「排水対策」
- ☞ 公共施設による雨水の一時貯留「流出抑制対策」
- ☞ 「流域治水プロジェクト」と連携した対策の推進

笠野原台地雨水排水懇談会

- ☞ 大学教授等の意見や助言等を踏まえた対策の検討

流域治水の取組「肝属川水系流域治水プロジェクト」

気候変動を踏まえた、水害に強い地域づくりのための治水対策

【具体的な取組】

- ☞ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策（河道掘削、堤防強化、内水対策の強化 等）
- ☞ 被害対象を縮小させるための対策（土砂災害警戒区域等の指定 等）
- ☞ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策（防災計画・避難計画の作成 等）

新川地区の例（2020年7月）



新川（排水路整備）
対策時期（R4.1～R4.10）
新川地区への流入を抑制するため、
分流排水路を整備

新川



和田新田（用水路改修）
対策時期（R5.9～R6.2）
越水問題を解消するため、鹿屋分水路への
放流用排水路を整備

和田新田

防災・減災の取組



地域防災リーダーの育成

防災出前講座
(防災マップ活用等)

家屋耐震モデル
地域学習会



イベント等での
防災ブースの設置

耐震化補助

鹿屋市支え愛ファミリー住宅改修応援事業

自分の命は自分で守る（自助）
自分たちの地域は自分たちで守る（共助）

避難所

57施設（一次15、二次12、その他30）

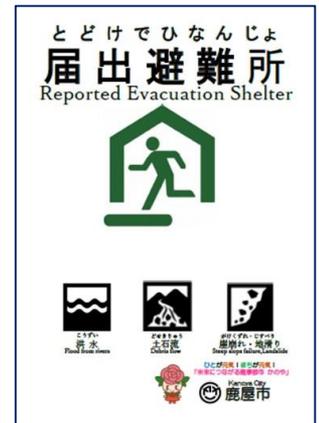
- ☞ うちペット同行避難所：1施設
- ☞ 女性職員、女性消防隊・ローズ隊の配置
- ☞ 長期避難に備えた備蓄品

大規模災害時 福祉避難所

- ☞ 要配慮者を対象に開設（指定5施設）

届出避難所

- ☞ 自主防災組織の判断で開設



災救マップ

スマホ等で確認

- ☞ 避難所の位置
- ☞ 開設・閉鎖・電気等のライフライン、混雑の状況



安全・安心な、信頼される、未来につなぐ水道

将来にわたって安全で良質な水を安定して供給し続けるために

生命を守る
ライフライン

安全

安心できる水道

持続

健全経営で市民満足度の高い水道

強靱

いつでもどこでも使える水道

重要給水施設の基幹管路の 水道管耐震化適合率

(2022年度末)

61.2% 全国平均 42.3%

鹿屋市 県平均 29.6%

生活排水対策の推進

公共下水道、農業集落排水施設
合併処理浄化槽設置

汚水処理人口普及率

76.7% (2021年度末) **80.0%** (2023年度末)

現状
課題

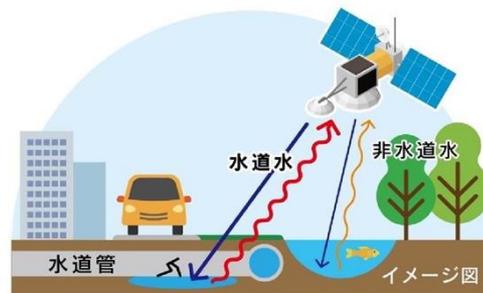
人口減少による給水収益の減少

水道管等の老朽化

水道施設の耐震化

漏水箇所の特定が困難
(有収率の低下)

(検討：例)
人工衛星画像と
AI解析を活用した漏水調査



図面提供：ジャパン・トゥエンティワン株式会社

「ゼロカーボンシティかのや」 (2022年宣言)

～恵み豊かな自然環境を未来の子供たちに引き継ぐために～

二酸化炭素排出量
の目標

57万3千t
(2020)

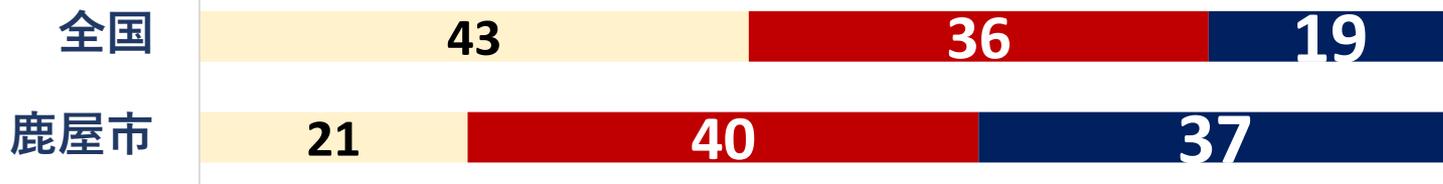
▶

実質ゼロ
(2050)

市民・事業者・行政が一体となって、脱炭素社会の実現に向けて取り組む
運輸部門と民生部門の対策を強化

CO2 排出割合 (%)

■ 産業部門 ■ 民生部門 ■ 運輸部門



地球温暖化対策につながる取組を推進

- 太陽光発電設備、太陽熱温水設備の導入 (湯遊ランドあいら)
- 個人向け太陽光発電設備・蓄電池の設置を支援
- 身近な取組の推進 (3キリプロジェクト など)



ひとり1日あたりごみ排出量 (g)

いっそうの減量・再資源化が必要



全国1,717自治体中
763位 (R3)

ごみ100g 減量
(一人一日当たり)



おにぎり1個分

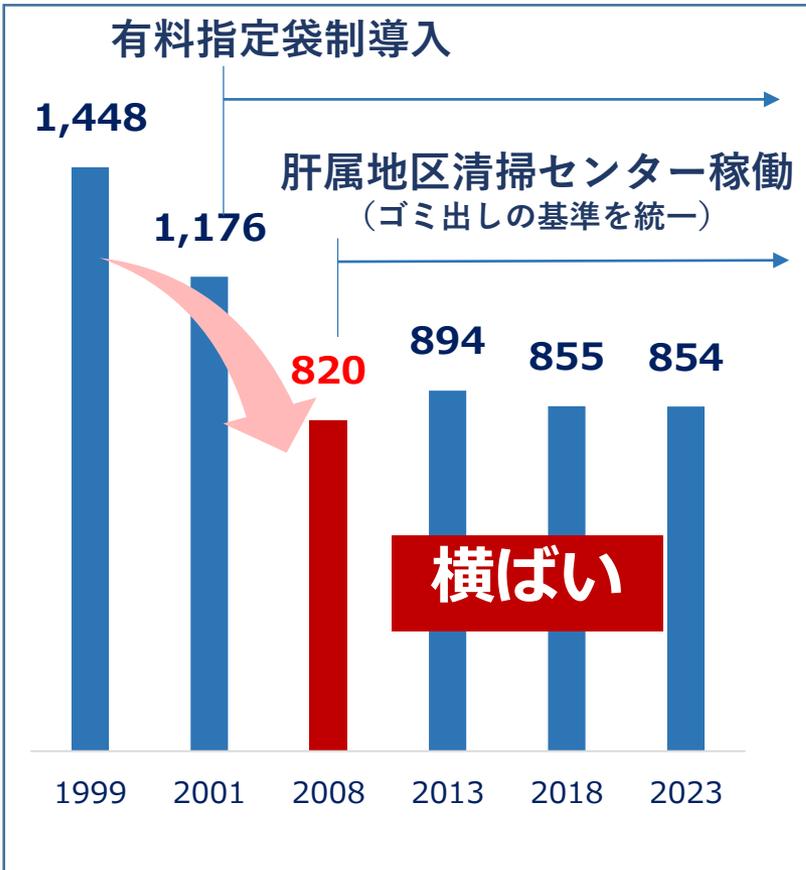
約1,900万円
の効果
(全国300位相当の順位)

燃やせるごみ
の減量

生ごみの回収
市内：171か所

捨てればごみ
活かせば資源 (肥料)

燃やせるごみとして
扱っていた
プラスチック製品を
資源として回収



市政運営

～もっと身近な、もっと熱い、
もっと分かり易い 市政運営～

- 市民の皆さまとの対話を重視し、
安心して暮らせる、
持続可能なまちの発展を目指す



市政運営の基本姿勢

『もっと身近な、もっと熱い、もっと分かり易い』
市政運営

本気で
語ろう会

市民の声
直行便

高校生が
未来を語る会

出前講座

市民モニ
ター

かのやっ子
委員会

女性会議

その他



市民の皆様の声を市政に反映

行政サービスの向上

「行かない」「書かない」「待たない」市役所

コンビニ交付

各種証明書（8種類）の発行

生活情報の発信

かのやライフ

登録者16,000人
(無料の市総合スマホアプリ)

ごみ出し情報、イベント情報、お知らせ
地域レポート、広報かのや、AEDマップ
避難所マップ

公式LINE

登録者10,000人

(鹿屋市のLINE公式アカウント)

スマート窓口

証明書のオンライン申請等

キャッシュレス決済

発行手数料、市税等

施設予約システム

オンライン予約

おくやみコーナー

死亡に伴う各種手続をワンストップで支援



～更なるサービス向上に向けて～

鹿屋市DX推進計画

デジタル技術を利用した便利で快適な行政サービスの提供

第44回
新聞広告賞
大賞

県内初!

動画: YouTube
再生回数: 71万回

土用のうしの日問題

突然すみません。鹿屋市で和牛の生産に携わる者です。このたび、「土用のうしの日」について問題提起をしたく、このような広告を出させていただきました。土用の丑の日には、鰻を食べる。この国で当たり前のように受け入れられている風習ですが、個人的にはこれまでずっと、どこか腑に落ちない感情がありました。その由来がふと気になって、つい先日、うちの若い衆にインターネットで調べさせたところ、判明したのは断崖の事実。なんでも、「うしの日だから「う」がつく鰻を食べる習慣をつけるようになった」という話でした。

「うしの日だから「う」がつく鰻??

理由として、あく前に割すさやしませんか?それならシングルに、うしの日だからうしを食べる、でいいはずですよ。こんなデタラメ、消したままでいいのでしょうか?

どうなる、今年の土用のうしの日。 KANOYeah! CITY

土用の丑の日について

突然すみません。鹿屋市で和牛の生産に携わる者です。このたび、「土用の丑の日」について同じく鹿屋市の和牛生産者が、わけのわからない広告を出す聞きつけ、(この裏面に出ていると誤っています。見なくて結構です)このような場をいただきありがとうございます。なんでも、土用の丑の日に鰻を食べる理由を調べたら、「うしの日」にちなんで「う」がつく鰻を食べて鰻を割す、というものでした。「う」がつけばいいのなら、「うし」を食べればいいはずだ。うしの日だし。という聞くに堪えない屁理屈を世の中に広げようとしているようです。

土用の丑の日に鰻を食べることは、暑い夏を乗り切るこの国の知恵であり、これからも守りつづけていくべき食文化。賢明なる消費者であるみなさまにおかれましては、流言飛語に感わされることなく、今年も変わらず鰻をお召し上がりいただくと幸いです。

どうなる、今年の土用のうしの日。 KANOYeah! CITY



- 動画 (4本)
 - ポスター
 - SNS発信
 - Web広告
- YouTube
約145万回
R5年度総再生回数

全国広報コンクール 入選
(市の部2020&2023)

KKBふるさとCM大賞2023
「かのやのアレを入手せよ」グランプリ

広域連携の取組

医療

夜間急病センター
(救急医療の確保)

産科医確保の取組
(保健・医療の確保)



暮らし

専門的な消費生活相談
(鹿屋市消費生活センター)

図書の広域貸し出し
(大隅広域図書館ネットワーク)



障がいに関する各種相談
(障がい者基幹(虐待防止)相談支援センター)



観光

大隅が一体となった誘客・回遊の促進
(おおすみ観光未来会議・大隅広域観光開発推進会議)



今後の取組

公共交通網の広域再編、広域的な立地適正化の取組
施設・インフラなどの資源や専門人材の共同活用 など

自衛隊

わが国の安全保障と防衛を担う組織

共存共生

鹿屋市基地関係連絡協議会

☞ 地域住民と基地との相互理解

鹿屋航空基地史料館

☞ 平和学習ツアーの受入

公共施設の整備推進

☞ 防衛施設周辺整備事業等を活用

隊員の方々との取組

☞ 戦没者追悼式

☞ エアーメモリアルinかのや

防衛施設が中心部に所在している

特性を生かしたまちづくり

本市の情報発信や観光交流人口の増加に向けた新たな取組など、更なる協力体制の構築



市政の総合的な経営指針となる最上位計画

第3次
鹿屋市総合計画
策定中

かのやなら、かのーや!
鹿屋市